

# News Release

2018年7月12日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2018 年 7 月 10 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

## BASF、Irganox® 1010 の生産能力を世界的に拡大

- 今回の投資によって世界的な需要増大に対応
- シンガポールの新しい生産ラインで生産能力が 2 倍に、2021 年稼働予定
- スイスのカイステンで生産能力を 30%拡大、2019 年稼働予定

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、シンガポールのジュロンおよびスイスのカイステンの拠点で生産能力拡大プロジェクトを実施し、酸化防止剤 Irganox® (イルガノックス)1010 の世界的な生産能力を 40%拡大します。カイステンでは 2019 年、シンガポールでは 2021 年に生産能力拡大を予定しており、BASF はアジア、欧州、中東、アフリカの顧客からの需要増大に、各地域の拠点から応えていくことを目指します。また、BASF は設備の信頼性を向上させると同時に、顧客からの需要増大に応じて生産能力を拡大するために、米国アラバマ州マッキントッシュの施設にも投資を行います。

BASF アジア太平洋地域パフォーマンスケミカル事業本部シニア・バイスプレジデントのハーマン・アルトフは次のように述べています。「生産能力を拡大することにより、需要の増加に対応します。シンガポールへの投資は、フェノール系酸化防止剤のリーディングサプライヤーとしての当社の地位を明確に示しています。」

シンガポールでは、新たな生産ラインを既存の生産施設に追加し、Irganox® 1010 の生産能力を 2 倍に拡大します。

BASF プラスチック添加剤事業 欧州・アフリカ・中東地域担当バイスプレジデントのアルベルト・ジョバンザーナは、次のように述べています。「同時に、スイスのカイステンの工場でデボトルネックの取り組みを実施し、Irganox® 1010 の既存の生産能力を 30%向上

させます。2019 年に時宜にかなった重要な生産能力拡大を行うことで、この地域における事業成長を加速化させていきます。」

BASF パフォーマンスケミカルズ事業本部 北米担当シニア・バイスプレジデントのデオン・カーターは、次のように述べています。「生産能力の拡大は、プラスチック添加剤に対する当社のコミットメントを示すものであり、世界の顧客に大きな利益をもたらすことにつながります。アラバマ州マッキントッシュの拠点へ投資することで、供給信頼性をさらに高め、Irganox® 1010 と関連酸化防止剤の生産能力を拡大し、地域の需要増大に応えていきます。」

Irganox® 1010 は、ヒンダードフェノール系の一次酸化防止剤です。熱酸化分解からプラスチックを保護し、主にポリオレフィンに使用されますが、ポリアセタールやポリアミド、ポリウレタン、ポリエステル、PVC（ポリ塩化ビニル）、ABS、さらにはブチルゴムや合成ゴムなどのエラストマーにも推奨される製品です。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

#### ■BASF のプラスチック添加剤について

BASF はプラスチック添加剤を製造するリーディングサプライヤーであり、この分野におけるイノベーションパートナーでもあります。BASF の包括的かつ革新的な製品ポートフォリオには、各種ポリマーおよび成形品、フィルム、繊維、シート、押出成形品などの用途において加工安定性、耐熱性、耐光性を向上する安定剤などがあります。プラスチック添加剤に関する詳細につきましては、<http://www.plasticadditives.basf.com> をご覧ください。

#### ■BASF について

BASF（ビーエーエスエフ）は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く、世界をリードする化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の3つを同時に果たしています。また、全世界で115,000人以上の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品、石油・ガスの5つの事業部門から成ります。2017年のBASFの売上高は約645億ユーロでした。BASFは、フランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)およびチューリッヒ(BAS)の証券取引所に上場しています。BASFの詳細情報は、[www.basf.com](http://www.basf.com) をご覧ください。